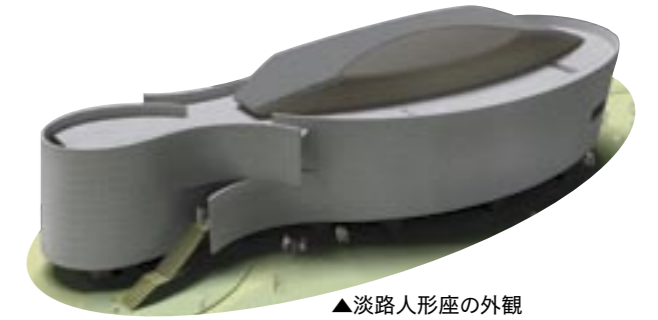


淡路人形座

新たな歴史がスタートします



▲淡路人形座の外観

淡路人形浄瑠璃は、鎌倉時代、大阪から淡路島に移り住んだ舞楽など神事を生業とする楽人が、西宮の戎神社の人形操りを取り入れて神事を行うようになったのが始まりと考えられています。江戸時代には、阿波藩主蜂須賀氏の庇護を受け、最盛期の江戸中期には40以上の人形座があり、全国を巡業し発展しました。喜怒哀楽を情緒豊かに表現する舞台芸術が内外ともに高く評価され、昭和51年に国指定重要無形民俗文化財に指定されました。

昭和60年、大鳴門橋開通に合わせて大鳴門橋記念館に常設館「淡路人形浄瑠璃館」が開設され多くの観光客を迎えましたが、平成13年頃から次第に来館者数が減少していきました。経営が危ぶまれる中、福良の中心市街地の活性化を合せて図るため、元の福良港に移転、新会館の建設が決定しました。そして、8月8日、待望の新会館「淡路人形座」がオープンしました。



5



6



7



2



3



4

1 淡路人形座の入口。人形の頭をイメージしたモダンな建物。2 7月30日に開催された竣工式で淡路人形浄瑠璃のますますの発展を祈る戎さん。3 開館を祝いテープカットを行う関係者。4 柿落し公演に訪れた多くの人たち。5 新館オープンを記念して行われた後継者団体と人形座員による三味線(連弾)。6 人間国宝 竹本駒之助師を迎え上演された「義経千本桜 道行 初音の旅」の一面。7 新館の柿落しを祝い、「花競四季」より「萬歳」を上演する人間国宝 鶴澤友路師(右)と竹本友喜美師(左)。

淡路人形座から御礼とお知らせ

ふるさと南あわじ応援寄附金、淡路人形芝居サポータークラブなど大勢の皆様のご協力のおかげで淡路人形座の新会館が完成、グランドオープンを迎えました。

前売り券、招待券などで、地元の皆様にも「玉藻前職 袂 神泉苑の段」と「日高川 嫉妬鱗 渡し場の段」をご覧いただきました。9月には下記の2外題「壺坂靈験記 山の段」、「一谷嫩軍記 須磨浦組討の段」を上演します。

9月23日から10月6日までの期間は、出張公演を予定しておりますが、人形浄瑠璃について実演を交えながらのレクチャーを行っています。

これからもいろいろなお芝居を上演しますので、淡路人形座のファンになつていただき、ますますの応援をお願いします。



壺坂靈験記 山の段



一谷嫩軍記 須磨浦組討の段

9月の外題

大和国壺坂に住む盲目の沢市は、女房お里の内職のかせぎに助けられながら、細々と暮らしていました。沢市は近頃お里が毎晩家を空けることに気が付いて、お里が不義をはたらいているのではないかと疑いを持っていました。実は沢市の目が治るようになり、壺坂寺に願掛けに行っていたのだと知ります。沢市は貞節な女房を疑ったことを詫言、お里の勧めのままに壺坂寺へお参りすることにしました。お里は幸せにはなれないと絶望し、傍らの谷に身を投げてしまいました。後を追ってお里も身を投げますが、観音様のご利益で二人の命は救われ、沢市のおも見えるようになるのでした。お里の献身的な愛を描いた名作です。

平清盛亡き後の源平の合戦を描いた名作の一つで、一の谷の合戦で敗れ、西国に落ち延びようとする平家の若き武将敦盛と、源氏の武士熊谷直実の悲劇を描きます。源氏方の武士平山武者所を追っていた敦盛は、途中で敵を見失い、須磨浦の波打ち際に出で、沖にいる味方の軍船に追いつこうとしていました。しかしその姿を熊谷が見つけ、戦いとなります。熊谷が組み敷いた若武者の顔を見ると、ちょうど我が子と同じ年頃でした。哀れに思った熊谷は、見逃すので落ち延びるようにと敦盛に勧めますが、味方の平山に見咎められ、泣く泣く敦盛の首を討ちます。熊谷は心重く馬を引き、その場を立ち去るのでした。

淡路人形浄瑠璃後継者団体発表会



▲後継者団体による「傾城阿波鳴門 順礼歌の段」の一場面

淡路人形浄瑠璃の伝統を継承している後継者団体の発表会が7月22日、三原公民館で開催されました。後継者団体の島内外からの出演のほか、今年新館「淡路人形座」のオープン記念「玉藻前職 袂 狐七化け」が上演されました。人形遣いの衣装と人形が瞬時に次々と変化していく場面では、その技芸の素晴らしさに観客からおしみに拍手がおくられました。

淡路人形座新館記念切手贈呈式

淡路人形座の新館オープンに先駆け市役所中央庁舎で7月23日、淡路人形を描いたオリジナルフレーム切手の贈呈式が行われました。

これは島内の郵便局でつくる「郵便局会社淡路地区連絡会」が淡路人形座のオープンに合わせて企画・製作したもので、切手の図柄は市内出身の平野隆三さんが描いた淡路人形絵画から選ばれました。この日は、郵便局会社近畿支社の西田一真営業本部長が



▲オリジナルフレーム切手を受け取る中田市長と八重垣姫

ら中田市長や八重垣姫に同切手が贈呈されました。